

執筆者一覧 Authors

梶原三恵子 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

(Kajihara, Mieko Professor, The University of Tokyo)

高橋 健二 東京大学大学院人文社会系研究科 助教

松浦 高志 東京大学大学院人文社会系研究科 助教



## あとがき

語学文学を研究していると、「査読誌に投稿するような新規性があるわけではないが、公開しておけばいつか誰かの役にたつかもしれない」ようなノートが手元にたまってくる。本冊子には、東京大学文学部インド語インド文学研究室関係教員によるそうした研究ノートをいくつか収録した。

梶原「ヴァイカーナサ・マントラ・プラシュナについて」（英文）は、約百年前に W. Caland が扱って以来ほとんど触れられていない同テキストについて手短かに解説し、古いグランタ文字刊本の冒頭部分のローマナイズを見本として付したものである。

高橋「『マハーバーラタ』インド南方伝承に関する研究動向」は、叙事詩『マハーバーラタ』の南インド系写本の評価に関する Th. Mahadevan の議論を検討し、その問題点を指摘したものである。

松浦「サンスクリット語文法ノート」は、種々のトピックについて各種文法書の要点をまとめたノートを集めたものである。著者の専門はギリシア語学であるが、学生のころから西洋古典学研究室助教を務める現在に至るまでサンスクリット語講読に参加し、折々に授業で議論になった点について文法書を調べ短いノートにまとめて次週の授業の検討材料に提供することを続けてきた。講読の際の調べ物の一つの見本といえるだろう。言語を学ぶ者は、人がすでに調べたことでも自分でまた一から勉強せねばならないのが定めだとはいえ、これらのノートは今後誰かが同じトピックに出会ったときの足がかりになるかもしれない。

古代インドの言語と文化の研究に関わるかたがたの役にたつことが少しでもあればさいわいである。

編者

インド語インド文学拾遺 2024

*Gleanings of Indian Languages and Literature*

---

2024 年 3 月 20 日発行

編 者 梶原三恵子

発行者 梶原三恵子

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学文学部インド語インド文学研究室

発行所 オリnpia印刷株式会社

---

©Authors 2024 Printed in Japan ISBN978-4-86795-049-4

インド語インド文学拾遺  
2024

*Gleanings of Indian  
Languages and Literature*